

坂道出典年表

最終更新日: 2018年11月19日

西暦	年号	坂名	所在地	出典	備考
1187	文治3	瓶割坂	犀川大橋一野町	三州名蹟志	義経奥州下り伝説と伝承
1574	天正2	枯木橋坂	橋場町	三州寺号帳	元龜・天正の争乱で枯木林となる
1580	天正8	甚右衛門坂	金沢城	三州志来因概覽附録	城内にはほかに松坂、尾坂、雁木坂など
1583~	藩政初	亀坂	小立野3丁目	亀の尾の記・加能郷土辞彙	「赤坂あり」「是より辰巳等の往来なり」
1583~	藩政初	塩硝坂	土清水町	後藤家文書	土清水塩硝蔵一五箇山(塩硝の道)
1583~	藩政初	御用坂(仮)	本多の杜	本多家上屋鋪御館絵図	上屋敷⇄中屋敷 2017年3月復元「歴史の小径」に
1583~	藩政初	家臣坂(仮)	本多の杜	本多家下屋敷絵図	家中町下屋敷 陣立て1,130人
1584	天正12	兼六坂	兼六町ほか	加藩国初文	修理谷→汁谷→尻谷→尻垂坂
1595	文禄4	善光寺坂	小立野3丁目	郷土史愛好家野上正治著作	善光寺坂地蔵尊
1601	慶長6	大乗寺坂	本多町	寺社由緒書上	総(惣)構修築のため替地
1616	元和2	観音坂	東山1丁目	観音院由来書(加賀藩史料)	男坂 4代光高が造成 1909年(明治42)に女坂
1616	元和2	香林坊坂	香林坊	金澤古蹟志	香林坊病死の記事
1635	寛永12	天神坂	天神町1-2丁目	金澤古蹟志	椿原天満宮(旧田井天神社)
1637	寛永14	八坂	東兼六町、小將町	金澤惣町役付(市中旧記)	古くからの巷称 ※1
1639	元禄6	小尻谷坂	東兼六町、小將町	侍帳	尻谷・小尻谷の表記
1657	明暦3	梅ヶ枝坂	兼六元町	木倉屋由緒帳	5代目長右衛門 びんつけ油「梅がえ」
1662	寛文2	馬坂	東兼六町、扇町	改作所旧記	馬坂新町が地子町に
1665	寛文5	W坂	清川町ほか	泉野村文書	二十人石伐の組地 ※2
1669	寛文9	裏門坂	宝町ほか	金澤古蹟志など	宝円寺大改修で裏口に~永福寺 ※3
1670	寛文10	鶴間坂	旭町1-3丁目	正保郷帳	村御印 もと牛坂→牛坂村
1671	寛文11	あめや坂	山の上町一森山2丁目	咄随筆(森田盛昌)	あめ買い(子育て)幽霊伝説 光覚寺口伝
1671	寛文11	嫁坂	石引4丁目	町会所留記(加越能文庫)	小立野嫁坂に住む「こんや八郎兵衛」の記事
1676	延宝4	松濤坂	兼六園	兼六園全史	5代綱紀 蓮池庭
1679	延宝7	長良坂	清川町一寺町1丁目	後藤家文書	長柄衆(長柄・ながらとも読む) 上舟渡、吹上
1690	元禄3	広坂	本多町	變異記	作事坂・安房殿坂(本多安房守屋敷)
1693	元禄6	紺屋坂	兼六園	土帳	こうや坂
1693	元禄6	賢坂	小將町、兼六元町	侍帳	賢坂辻一材木町剣先辻
1733	享保18	蛤坂	野町1丁目ほか	亀の尾の記	火災後に道がつく→妙慶寺坂 ※4
1734	享保19	御小屋坂	小立野3丁目	加陽金府武士町細見図	1670(寛文10)創設の困窮者救済施設(小屋)へ至る
1752	宝暦2	つばや坂	つばき裏	亀の尾の記	鍔屋甚兵衛創業 坂名は国本命名
1797	寛政6	隨身坂	兼六園	兼六園歳時記(下郷稔)	金沢神社の隨身像
1804~	文化・文政期	御参詣坂	法島町一平和町2丁目	金沢城下南部の歴史(新保望)	前田家墓所への参詣道
1805	文化2	線香坂	小立野3-石引2-笠舞2丁目	加能郷土辞彙	小立野で線香場が操業。別名あらま坂
1807	文化4	槌子坂	旧味噌蔵町小前	北国奇談巡杖記	「ならかななるあやしき怪あり」
1818~	文政期	上坂	竹沢御屋敷総絵図		役人往来
1830~	天保期	漏尿坂	瓢箪町	亀の尾の記	夜つ尿→よつぱり→夜っ張り
1865	慶応元	貝割坂	清川町	金澤・野町の四〇〇年(南野弘)	山錦楼 旧蛤坂新道
1867	慶応3	子来坂	子来町	卯辰山開拓録	14代慶章 資材運搬路
1867	慶応3	佛塚坂	天神橋口	卯辰山開拓録	「藩主・病院ヲ開キ給ウ厚キ恵ミヲ悦ビ」
1867	慶応3	千杵坂	卯辰天満宮	卯辰山開拓録	御冥加による「千本搦き」
1867	慶応3	開基坂	卯辰天満宮	卯辰山開拓録	二ノ坂 開拓手始めの場所
1867	慶応3	表坂	末広町	卯辰山開拓録	養生所跡-花菖蒲園
1867	慶応3	汐見坂	卯辰町	卯辰山開拓録	「一本松春日山へゆく道」
1867	慶応3	常盤坂	常盤町	金澤古蹟志	卯辰山開拓時に新たに町立て
1868~	明治初	長谷坂	兼六園	兼六園全史(1976刊行)など	2代金沢市長・長谷川準也
1868~	明治初	真弓坂	兼六園	兼六園全史	高台の物見所 崩して坂に
1868~	明治初	桂坂	兼六園	兼六園全史	桂の古木(開設以前より)
1868~	明治初	不老坂	兼六園	兼六園全史	不老樹フジ 常磐岡
1871	明治4	不老坂	法島町一十一屋町	戸籍編成	法島湯にちなみ風呂坂とも。坂上に祇陀寺
1892	明治25	桜坂	清川町	市史年表「金沢の百年」	拡張を機に命名 ※5
1896	明治29	爪先上り	下新町	照葉狂言(泉鏡花)	「わがたる町は一筋細長く」
1910	明治43	下坂	兼六園	兼六園案内図	百間堀通り開通
1915	大正4	獅子帰坂	東御影町	卯辰山と浅野川(平澤一)	三社の社-玉売ヶ丘
1920	大正9	暗がり坂	主計町	樺桿に目鼻のつ話(泉鏡花)	「暗闇(くらがり)坂を下りると」
1923	大正12	児安坂	大樋町	金沢三中・桜丘高校五十年史	三中創立の2年後、児安ヶ丘の現在地に新築移転
1932	昭和7	木曾坂	宝町一扇町	小立野婦人学級61年度文集	裏門坂のバイパス 失対事業
1932	昭和7	大林区の坂	野町と弥生の境	金澤・野町の四〇〇年	旧南端国道(南大通り)開通に合わせ
1934	昭和9	白山坂	石引2丁目	波着寺寺記・小立野校下の歴史	波着寺は1619年(元和5)現兼六園から白山町へ
1939	昭和14	二十人坂	石引2丁目	金澤古蹟志・小立野校下の歴史	旧二十人町は1584年(天正12)鉄砲足軽の組地に
1945~	戦後	鶯坂	小立野3丁目	サカロジ-金沢の坂	笠舞の住宅地化に伴う
~1945	戦前	本覚坂	野町3丁目	金澤・野町の四〇〇年	1614(慶長19)本覚寺建立。旧六斗林
1991	平成3	かいもち坂	東荒屋町	金沢大・伝承地名調査第一報	中村健二元金沢大技官・加越能地名の会元代表
1999	平成11	一本松坂	卯辰町	サカロジ-金沢の坂	国本命名。一本松道・道路・往来~
2003	平成15	御影町	東御影町	四季こもごも(国本昭二)	旧御廻(みめぐり)町
2010	平成22	あかり坂	主計町	主計町あかり坂(五木寛之)	国本命名「路地坂」(1997)
2013	平成25	美術の小径	本多の杜	市指定史跡	県立美術館⇄中村記念美術館

※1 八坂はもと宝幢寺坂。延宝年中社寺来歴に「元和元(1615)家老村永福が3代利常の戦勝を祈願」とある

※2 W坂=石伐坂 別名・清立寺坂 明和年間(1764~)以降に移転。寺社由緒書上

・吹屋坂 吹屋は鍔物屋。同名の坂が野町一蛤坂上にあり、蛤坂新道でつながる。旧藩時は車馬通行禁制。「防備上二開スルナン」(温知叢誌)

※3 宝円寺は藩祖利家の創建。前田家菩提寺。永福寺は利家家臣奥村伊守永富(もと末森城代)が建立

※4 蛤坂はもと妙慶寺坂。天明6(1786)の由緒書に「妙慶寺坂とも称した」とある。開基は2代利家長老、松平康定

※5 桜坂は「一名仙人坂ト云ウ」(温知叢誌)。明治31(1898)下石伐町上流部に隣接して仙人町一桜菖十番丁に新道。上下で呼称異なる

《坂のピックアップは『サカロジ-金沢の坂』(国本昭二、2007)をベースにその後知り得たものを追加した。出典については『金澤古蹟志』(森田平次、1976)など地誌・史資料のほか、『日本歴史地名大系』(平凡社、1991)などを参考にした。坂に関する事象が記載されている場合も可とした。藩政後期は文化・文政期以降とした。敬称略)